

癌化学療法輸液約束処方 呼36

癌種 肺癌（切除不能進行・再発、2次治療）
 レジメン名 呼36 DOC + RAM

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
サイラムザ	ラムシルマブ	RAM	10mg/kg	div	60分	DAY1	21日間
ドセタキセル	ドセタキセル	DOC	60mg/m ²	div	60分	DAY1	

[DAY1]

- ① NS 100ml + デカドロン 1V + ポララミン 1A / 30分
- ② NS 250ml + サイラムザ _____ mg / 60分 ☆フィルター使用
- ③ NS 100ml / 15分
- ⑤ NS 250ml + ドセタキセル _____ mg / 60分 ☆フィルター使用
- ⑥ NS 50ml / 15分

〈備考〉

- ①サイラムザ投与時は蛋白質透過型のフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用すること。
- ②G1～2のinfusion reaction発現時は、アセトアミノフェン、デカドロン、H1ブロッカーなどの前投薬を強化する。
 ※投与中に発現した場合は投与速度を50%減速すること。
- ③手術予定の場合または創傷治癒していない場合は投与中断する。術後28日以内、CVポート留置7日以内は慎重投与。
- ④臨床試験におけるGrade3以上の好中球減少症及び発熱性好中球減少症の発現時期(中央値)は8.0日及び10.5日。

〈投与中止〉

動・静脈血栓塞栓症、G3～4のinfusion reaction、消化管穿孔、G3or4の高血圧、うっ血性心不全、コントロール不能な高血圧
 可逆性後白質脳症症候群(痙攣、頭痛、錯乱、視覚障害等)、3g以上/日の蛋白尿またはネフローゼ症候群
 G3～4の出血

R3.2.8改訂